

| | | | | | | | |
|------|---------------|------|----|------|---------|------|------|
| 科目名 | 真宗学特殊研究 I [院] | | | | | 単位 | 4.0 |
| 担当教員 | 廣瀬 惺 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 開講期間 | 通年 | 配当年次 | 1, 2, 3 | 授業番号 | 5586 |

●授業のテーマ

『教行信証』『信巻』に学ぶ

●到達目標

『教行信証』の基本的な学び方が、読誦にあることを体得する。そのことに合わせて、親鸞の引文が、ただ文献的に引いておられるのではなく、それらの文の意を聞いていっておられることを理解する。

●学習内容(授業概要)

『教行信証』は親鸞の主著であり、親鸞が生涯かかって筆を加え続けていかれたものである。その中で「信巻」は己証の巻として、法然を縁として真宗に出あった親鸞がその後の歩みを通して、その真宗を徹底して明らかにしていった眼目内容が述べられている巻である。この授業では、その「信巻」学ぶ。受講生諸君の発表形式をとって、「信巻」の意を頂いていきたい。

●学習内容(授業計画)

1. 『教行信証』総論
2. 『教行信証』における「信巻」の位置および意義
3. 「信巻」の課題
4. 「別序」(1)
5. 「別序」(2)
6. 「別序」(3)
7. 「大信釈」
8. 「経文証」(1)
9. 「経文証」(2)
10. 「論註の文」(1)
11. 「論註の文」(2)
12. 「論註の文」(3)
13. 「論註の文」(4)
14. 「讚阿弥陀仏偈の文」
15. 前期のまとめ

1. 前期の復習

2. 善導の引文の全文素読
3. 「定善義・序分義の文」
4. 「三心正因の文」
5. 「至誠心釈の文」(1)
6. 「至誠心釈の文」(2)
7. 「深心釈の文」(1)
8. 「深心釈の文」(2)
9. 「深心釈の文」(3)
10. 「深心釈の文」(4)
11. 「回向発願心釈の文」(1)

12. 「回向発願心釈の文」(2)
13. 「回向発願心釈の文」(3)
14. 「往生要集の文」
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回、次回の授業について予習しておくべきことを指示するので、その指示に基づいて予習をして授業にのぞんでください。また毎時間、学んだ内容を記したノートを、復習として読み直してください。

●成績評価方法・基準

定期試験 5 割、発表 5 割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：真宗聖典、出版社：東本願寺出版部、販売先：学内

●参考文献／その他

授業時に指示する

●履修上の注意

受講生との呼応を大切に授業を大切にしたい。授業への積極的な参加を望む。